令和6年和光市農業委員会8月総会会議録

和光市農業委員会

令和6年和光市農業委員会8月総会日程

令和6年8月28日（水曜日）午後3時30分開会

日程第1 開 会

日程第2 開 議

日程第3 議事録署名委員の指名 3番 富岡浩之委員 4番 本多 修委員

日程第4 協議事項 ①令和6年和光市農業委員会9月総会の日程について

②農地利用状況調査の審査について

③その他

日程第5 諸報告 ①会長専決について

②農業委員の活動報告について

③その他

日程第7 閉 会 午後4時50分

出席委員（10名）

1番	新坂篤司君	2番	富岡和樹君
3番	富岡浩之君	4番	本多修君
5番	成田真理子君	6番	小寺淳一君
7番	吉田成実君	8番	田中和巳君
10番	井口俊彦君	11番	浪間兼三君

欠席委員（1名）

9番 富澤孝子君

◎開会

◎開議

○事務局長（大塚） それでは、皆様、こんにちは。

定刻よりまだ若干早いですけれども、皆様おそろいになりましたので、ただいまから令和6年和光市農業委員会8月総会を開会いたします。

本日は富澤孝子委員より総会欠席の連絡を受けております。

それでは、会長、よろしくお願いいたします。

○新坂会長 皆さん、こんにちは。

連日のように蒸し暑い日が続いておりますが、皆さん、体調にお変わりなどないでしょうか。また、現在台風10号が日本列島に接近しており、いろいろ台風への備えでお忙しいことと思いますが、本日もお集まりいただきまして、誠にありがとうございます。

スムーズな議事運営に努めてまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

それでは、着座にて進めさせていただきます。

令和6年和光市農業委員会8月総会を始めます。

出席委員は11人中10人で、和光市農業委員会会議規則第6条による定足数に達しており、総会は成立していることをご報告いたします。

◎議事録署名委員の指名

○新坂議長 初めに、議事録署名委員ですが、3番、富岡浩之委員、4番、本多修委員を指名します。

◎協議事項

①令和6年和光市農業委員会9月総会の日程について

○新坂議長 それでは、議事に移りますが、本日は議案がありませんので、次第の4、協議事項となります。

協議事項①令和6年和光市農業委員会9月総会の日程について、事務局より説明をお願いします。

○事務局（内藤） 令和6年和光市農業委員会9月総会の日程についてですが、9月25日水曜

日、午前10時からを提案させていただきます。場所は、同じく3階庁議室です。

なお、10月総会につきましては、10月25日金曜日、午前10時の開催を予定しており、現在のところ503会議室を確保しています。ご協議のほどよろしくお願いいたします。

説明は以上です。

○新坂議長 9月総会の日程ですが、9月25日水曜日の午前10時からということですが、皆様ご都合はいかがでしょうか。

よろしいですか。

(「はい」の声あり)

○新坂議長 では、9月25日水曜日の午前10時から、場所は3階庁議室でお願いします。

また、10月につきましては25日金曜日の午前10時の予定とのことですが、現時点で都合の悪い方はいらっしゃいますか。

8番、田中委員。

○田中委員 もしかしてちょっと出られないかなと思います。

○新坂議長 分かりました。

○田中委員 すみません。分かり次第、確定次第、連絡させていただきます。

○新坂議長 分かりました。

他にどうでしょうか。

○事務局(大里) 議会の閉会日と9月25日がちょっと被ってしまって、恐らく閉会が午前中なので、ずらしたほうが良いと思います。

○新坂議長 9月25日の午前が市議会の閉会日ということで、私が出席しなければいけないため、午前の総会が開催ができないということです。ですので、午後からの総会ということに変更できればと思うんですけども、皆様のご予定はいかがでしょうか。

○事務局(内藤) ちょっとお部屋探してみますので。時間は、2時とか3時とかでも大丈夫なようにはなっているかと。

○事務局長(大塚) ちょっと自分が、3時から別の用事があるので……。

日程調整をさせていただきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

○新坂議長 分かりました。

では、他に10月総会の予定も含めて、皆様のご予定とかはよろしいでしょうか。大丈夫ですか。

(発言する者なし)

○新坂議長 では、そのような予定でよろしくをお願いします。

◎協議事項

②令和6年度農業経営及び農地利用状況に関する調査について

○新坂議長 続きまして、協議事項の②農地利用状況調査の審査について、事務局より説明をお願いします。

○事務局（内藤） 協議事項②農地利用状況調査の審査について説明いたします。

まずは、先日の現地確認の調査、大変お疲れさまでした。

資料の2番をご覧ください。

当日、皆様に現地で点数をつけていただいたものを集計して、平均点にしたものとなっております。

管理区分や農地区分の合計が4点以上で指導対象となり、6点以上の場合には強めの指導をすることになっておりますが、点数以外に個々の事情により配慮するかどうかなど、総合的に評価した上で、実際にどのような指導を行うか判断いただきます。

なお、指導文書の案としては、資料2の一番後ろのところに、通常の見本と、その裏面に、強めの指導文書として載せてあります。このような内容となっております。

では、資料2の一番上のページの①の方、Aさんからご説明していきたいと思っております。

写真が2枚目以降についているんですけども、①番の写真になっております。

先日の調査の時点での合計点数が11点となっております。草が大体1メートルぐらい高いのが生えていたような状況で、一面が雑草で覆われているような状況です。隣は、民家はなかったんですけども、農地があり、周囲への悪影響もちょっと懸念されるような状況でして、指導が必要かご判断をお願いします。

①番の説明は以上です。

○新坂議長 ありがとうございます。

まず、①ですが、現在の状況を見て、皆様どうでしょう。いかが思われましたか。

こちらの畑、前回見に行ったときは冬だったかな、草が枯れていたもので、そこまでの印象は……草も結構ありましたけれども、そのとき以上に今回は青々としていたので、あまり管理されていないのかなという印象も受けたんですが、皆様はどう思われましたでしょうか。

一応、今回、皆様の点数の平均を取ったところ、合計で11点ということですので、今回は少し強めの指導ということでもいいのかとも思いますが、皆様はどう思われますか。

11番、浪間委員。

○浪間委員 Aさんのこの1番は、前回は指導しているんですか。

○事務局（内藤） そうですね、前回は指導しています。

○浪間委員 普通の指導。

○事務局（内藤） 普通の指導だったと思います。

○浪間委員 一部たしか少しだけ、少しだけと言ったらあれだけでも、やってはいらっしゃったんですけども、奥のちょっと樹木というか、少し背の高い木がやっぱり、おっ、というような状態だったので、今回。

前回、普通の指導をしてそういう状態であれば、ちょっと一回入れてもいいのかなと思うんですけども。11点で、6点以上ですから、強い指導で。

○新坂議長 ありがとうございます。

他にご意見はありますか。いかがでしょう。

生産緑地でもあり、納税猶予もかかっておりますので、前回そういう指導もあったということも踏まえると、今回、指導強めでも致し方ないのかなとは個人的には思いますが、よろしいでしょうか。

今回、では、強めの指導ということでよろしいでしょうか。

（「はい」の声あり）

○新坂議長 では、それでよろしくをお願いします。

○事務局（内藤） では、資料2の②番、Bさんについて説明いたします。

合計点数が6点となっております、写真の資料が②で、①のすぐ隣の農地となっております。

①番と比較すると、ある程度手入れがされている様子で、雑草の高さは足首程度のような状態となっております。隣は①の農地なんですけれども、ある程度周囲への悪影響とかも可能性としてはあるような状況ですので、指導が必要かどうかご判断をお願いします。

説明は以上です。

○新坂議長 ありがとうございます。

続きまして、この②番の農地についてですが、こちら現況を見て、皆様どう思われたでしょうか。

こちらの畑、実際現地を見てみると、確かに草はたくさん伸びてはおりましたが、一部何かこう作物を植えている跡も見えたので、耕作しようという意思は感じることはできた

と思うんですね。

かといって、生産緑地、納税猶予というのは入ってはいるんですけども、そこら辺のバランスを見て、皆様どう判断されるかご意見がありましたらお願いします。

4番、本多委員。

○**本多委員** うちの近所なので、いろいろと作業しているところとか、結構朝早くからトラクターで耕したり、あと刈り払い機で刈っていたり、除草剤は基本的に使わないみたいなんですよね。そういう形で、一応畑は管理しているんですけども、たまたま今回に限って、ちょっと手を抜いているのかなというところは見受けられるんですけども、いつもはそんなにひどくなっているところではないので。作物も、ウリを少し作っているということで。

そういう形で、軽い指導程度なら今回はということでもいいような気がします、結構頻繁に来てやっていますので。たまたま今回だけちょっと時間が空いちゃったような感じなので、もうちょい様子見て、次回まで保留という感じでもいいような私は気がします。

○**新坂議長** ありがとうございます。

ただいま本多委員から、情報を今提示していただきました。

こちら、自然農法という形になるのでしょうか。農薬、除草剤を使わないで作物の管理に努めているということです。

ただ、前回は対象にはなっていないんですね。

○**事務局（井上）** なっていないですね。前はきれいになっていたの、対象にはなっていないんですけども。

○**新坂議長** では、その点を加味して、通常の指導を出すか出さないか、そこら辺で分かれるところかなと思うんですけども、どうでしょう。

○**新坂議長** 田中委員。

○**田中委員** 作物以外のところは刈った跡があったので、そういうのは一応刈りはしているんじゃないんですか。

○**新坂議長** ありがとうございます。

○**富岡（和）委員** ご近所の方ではないので、畑だけ見るといろいろな意見もあるんですけども、そういう本多さんの意見も耳傾けると、様々な事情があるので判断しづらいところかもしれない。

○**本多委員** 恐らく、これは皆さん様々な事情があって、なかなかできないということもあるだろうから。

でも、Bさんに関しては、もう一回ちょっと様子見たほうがいいのかという気がします。
次回、また半年後。

○新坂議長 秋、冬になるのかな。

○事務局（井上） そうですね、また12月とかそれぐらいにやると思うんですけども。

○新坂議長 ありがとうございます。

そうしたら、今回は指導を見送るということによろしいですか。皆さん、そのような感じの意見ですので、今回は指導を見送る方向で、では、お願いします。

○事務局（内藤） では、続きまして、資料2番の③④⑤番が同じ方で、Cさんの農地となっております。

合計点数が、上から6点、8点、6点となっています。

写真の資料が、③と裏面の4、5です。

③番の農地なんですけれども、すぐ隣に工場というか大きい倉庫があって、民家がある場所ではないので、苦情が来たことはないんですが、果樹が植えてあって、その周りがかかなり背の高い雑草で、歩道のほうまではみ出しているような状況です。

4番の農地ですが、これが市街化調整区域で、砂利道のところなんですけれども、砂利道側がかかなり背の高い雑草で、2メートル以上あったのかなというような。中のほうは猫じゃらしが生えているような状況でした。

⑤は下新倉五丁目のところなんですけど、こちらがちょうど下新倉小学校のすぐ隣のところの角になっておりまして、結構苦情も来ていた場所で、直接事務局から本人に草刈りをお願いしていたところで、見ていただいたときにちょうど倒れているような、一部刈られて倒れていたの、手をつけられたのかなというような状態です。

全体的に3つまとめて指導が必要かどうかというところをご判断いただければと思います。
お願いします。

○新坂議長 ありがとうございます。

こちらまとめてでいいんですか。

○事務局（内藤） まとめて指導するかしないかで……。

○新坂議長 全部まとめて指導するかしないかですね。

○事務局（内藤） はい。

○新坂議長 分かりました。

では、こちら③、④、⑤番についてですが、総合的に判断して指導を出すか出さないか、

また、指導を出す場合はどういう指導が適切かについて、皆様のご意見をお聞かせください。

3番、富岡浩之委員。

○富岡（浩）委員 ③のところに、既に不法投棄と思われるバイクがあったんですよ。そうすると、不法投棄が増えないのかどうかちょっと気になるといえば気になるところなんですよ。そうすると治安も悪くなるので、その点はどうかという。

○新坂議長 ありがとうございます。

ただいま富岡委員からご指摘がありましたように、スクーターが放置してあるのを確認しました。ごみは1つ置いてあると、他の人もここならいいんだということで、ごみがどんどん捨てられてしまうという傾向はよく見受けられます。この点も含めてちょっと管理はしてもらいたいというのは思ったところですが。

他にご意見ある方いらっしゃいますか。

5番、成田委員。

○成田委員 見た感じ、明らかに手入れもしていない、刈りもしていないかなというのと、あと、ここに入る入り口が、歩道のところに縁石ブロックが両方にあって、果たしてこれどこから作業の車とか入るのかなと。そういうことを全然考えていないなら、もう畑やる予定がないのかなという気がしました。本来だったらここ主張するはずですよ。ここに畑があるからここに通路を空けてほしいとか、そういう話も多分ないままあの形状になったのかなと思いました。

○新坂議長 ありがとうございます。

結構、行くと柿でしたか、ここ3番のところはなっちはいましたけれども、何か。

○浪間委員 当日もちょっと確認したんですけども、この3番に関しては、今まで一切こちら側も指導していなかったし、気づいていなかったと言ったらあれだけれどもという感じなんですよね。

○事務局（井上） そうですね。そもそもここが畑というふうに認識をしていなかったのもあって、今まで利用状況調査で対象になったことはなかったです。

○浪間委員 なかったんですよ。だから、一度でも手が入っていたのかどうかもちょっと覚えがないのであれですけども、多分一度やっぱりお知らせして気づいてもらったほうが、見ている人がいるというのを気づいてもらったほうがいいのかなどはちょっと思うんですけども、ここ3番に関しては。

まとめてとなると、5番のほうは、1回トラクターでなぎ倒そうとした努力をしているの

で、今後何かまた対策考えてくれるかなというのはあるんですけども、3番に関しては、普通指導でも分かるようにお知らせしておいたほうがいいと思います。

以上です。

○新坂議長 ありがとうございます。

3番に関しては確かに、畑とはなかなか認知できなかったですね。普通に前通っていても畑とは分からないような。

4番についてはいかがでしょうか。

こちら、向かいの畑のCさんから前回の調査のときに困っているんだみたいな話はあったところだと記憶しているんですけども、実際前回ここの中に入って行って見たとき、大分入り口のところは、これちょっと写真見ると私が写っているんですけども、入り口のところにすごい背の高いのがあって、ちょっと何か畑なのかなというのは印象を受けました。

連続対象にもなっていることを踏まえると、ここはちょっと何らかの指導が必要なのかなと個人的には思います。

皆様はどう思われたでしょうか。

6番、小寺委員、いかがでしょうか。

○小寺委員 実際見ると、3番のところが一番ひどいというような感じで、どうすることもできないような状態になってしまっているような感じですよ。この場所だけが何か取り残された場所というか、どうすることもできないので、Bさんといろいろ話し合いとかでいい方向にしていってほしいような気がします、この3番に関しては。あのままだと本当に残った場所で、何するにも何もできない感じですし。

以上です。

○新坂議長 ありがとうございます。

どうでしょう、その他、4番、5番等も含めて何かご意見ありますでしょうか。

どうですか、田中委員は。

○田中委員 いろいろちょっと見直していただくぐらいでいいんじゃないですか。何か聞くとところによると、どちらにしても業者さんに頼んでいるんですよ。

○事務局（井上） そうですね、ご本人大分ご高齢なので、本人はできないので、業者さんに。

○田中委員 なかなか高齢の方となると、実際問題、自分たちもそうなら分からないので、どうも強くは言えないんですけども。

○本多委員 自分に置き換えたときに、勝手は言うけれどもやっぱり体が動かないとか。

○田中委員 どっちにしてもそれぞれ事情はみんな分からないので、なかなか強くはあれかなと思うんですけども。

○新坂議長 ありがとうございます。

どうでしょう、他にご意見のある方はいらっしゃいますでしょうか。

(発言する者なし)

○新坂議長 そうしたら今回、指導を出す方向で。

その内容については、どうでしょう、今回結構3つもありますので、ちょっともう連続になっているところも考えると、強めの指導が適当ではないかと思うんですけども、その強さに関してはどうですか。強めでよろしいでしょうか。

(「はい」の声あり)

○新坂議長 ありがとうございます。

それでは、事務局、こちら強めの指導をお願いします。

○事務局(内藤) はい。

では、続きまして、資料2の6番の農地で、Dさんの農地です。

合計点数が9点になっておりまして、写真が2枚目の裏面の⑥番、3枚写真がついております。

この耕作している部分は一部で、奥のほうに行くと柿の木が植わっていて、その周りがかかり雑草で生い茂っていたような感じだったんですが、足元見ると結構切られて作業した跡もあるような状況でした。

ここも結構周りに家が建っておりまして、雑草が繁茂したり、巨大な木の枝が家のほうまで近づいてきているといったような苦情が来ていたりする場所ですので、隣地に悪影響を与えているような状況になっているところですので。近日、知り合いに手伝ってもらって作業したということも本人から聞き取ってはおりますので、そのあたりも含めて指導が必要かどうかご判断をお願いします。

○新坂議長 ありがとうございます。

では、今回6番ですね。6番の畑について、皆様のご意見をよろしくをお願いします。

○浪間委員 作業したというのは、僕らが見に行く前にして、草刈ったりとか除草剤だったりとか。

○事務局(井上) そうです。

○浪間委員 分かりました。

○新坂議長 2番、富岡和樹委員。

○富岡(和)委員 2回目ぐらいに見させていただいたんですけれども、これに関しては指導というか、どこまでやってもらえたらいいのかという判断が難しくて。例えば、隣地の方の雨どいとか、そういったところに配慮してもらうのか、それとも、畑はどこまできれいに我々は指導しなきゃいけないのかがすごく分かりかねるようなところなので、ちょっと何とも言えないというのが印象にありました。

○新坂議長 ただいま、富岡和樹委員のご意見いただきましたが、私もこれ、農業委員になった当初からずっと見てきているところなんですけれども、信じられないぐらいきれいになっているなという。前はもうこの奥のほうまで行けないぐらい草が伸びていて、こんなに広いんだ、一番奥まで行ったことなかったんですけれども、今回奥まで行ったら梨も植わっていたり、業者にしてもらったんでしょうけれども、随分今回頑張ったんだなという印象を持ちました。また、少しですがトマトとか作物も植えられているので、頑張っているなという印象ですね。

ただ、隣の住宅からは、やっぱり木が伸びてきちゃって迷惑だよというのが、前々からあったところは伐採されていたんですけれども、今度その隣のお宅からの苦情というのが、また新たに入ってきてしまっているというところを考えると、この点をどう判断するのか。あまりしつこく言い過ぎて、本人がやる気を失っちゃうのもかわいそうな気もするし、生産緑地という、納税猶予もかかっているということも考えると、そんな甘いことも言っていられないのかという、判断の難しいところではありますよね。

10番、井口委員。

○井口委員 私の家の畑もあまりきれいじゃないので、あまり立派なこと言えないんですけれども、確かにそれぞれのご家庭の事情があって、この夏の暑さ、体調もよくなって、年齢的なものも、それと親戚にご不幸があったり、いろいろ考慮しなきゃいけないし、温かい目で見守ってあげることが大事だとは思いますが、ここの6番、頑張っているというのは私は思わなくて。これでいいのかなと思って。二十日の日にちょっと見させていただいたところで、毎年常連で出ておられるお名前と場所で、多分来年ももう出てくると思うんですよね。

だから、もしかすると、温かい目で見守ってあげるのも大事かもしれませんが、ちょっと背中を押してほしくて、農業委員会からこんな来ちゃったよまた、と。本当は売却したいとか、そういう考えもあるかもしれない。もちろん遡ってすごい税金払わなきゃいけないでしょうけれども、ある程度覚悟の上でこうしているんじゃないですか、このすごいところを見ても。

どう考えても、連続対象で、これでいいわけないというのは皆さん分かっていると思うんですね。これが、秋になってきれいに耕耘されて作物があつたりすれば良いですけども、来年もこの状況で連続対象になって必ず出てくる気がするんですね。だから、ある程度これはもう、ご本人なりに頑張っていらっしゃるとは思いますけれども、強い指導を、今回連続対象になっていて9点というところは強い指導しないと、何かあれで良いのかなって思っちゃいますけれども。

以上です。

○新坂議長 ありがとうございます。

他にご意見のある方はいらっしゃいますか。

○富岡（浩）委員 この前、納税猶予を受けている方からちょっとだけお話聞かれたんですよ。納税猶予受けていて、あれで農業委員見ているのといったら、ああ、はいと言って。

ただ、真面目に納税猶予を受けて管理している方と、あまりにもひどい方と比べて俺もそうしていいのと言われて、それはまあ。真面目な人が損しないように指導してくれないと、とある方に前言われたんですよ。そこも考慮したほうがよろしいかなと思うんですが。

○新坂議長 ありがとうございます。

どうでしょう、他にご意見のある方いらっしゃいますか。

吉田委員はいかがでしょうか。

○吉田委員 6番のDさんの農地、僕らが育った環境と違う、畑に見えないんですよ。どう見ても崖の斜面地で、税金対策で生産緑地になれば税金が安いという地主さんの考えもあるんでしょうけれども、これ、誰がどう耕作してくださいと言ったって、できる人いないと思いますよね。トラクターが入れば入っただけ土砂が流れるし。

ただやっぱり立場上、税金を納めてもらっている、この新しく家が建った人、後から建てたんでしょうけれども、やっぱりこっちには責任が、今回地主だとしたら責任があるので、そこだけはきれいにしておいたらと思いますけれども。人に迷惑をかけない。あとはうまいことやって、ちょっと税金安くしようかなと、人間だからそう思うけれども、だからその辺だけ、近隣の人に迷惑かからないような、そういう指導。やっぱり指導は、さっき井口さんが言ったように、あくまでもきっちりとした指導をして、迷惑かけているという苦情が来ているわけなので。そうしないと、やっぱり農業委員会の威厳もないし、なあなあで終わっちゃう組織なのかと思われてしまう。

以上です。

○新坂議長 ありがとうございます。

どうでしょう皆様、ほかにご意見のある方いらっしゃいますか。

事務局。

○事務局（井上） このDさんのところなんですけれども、長年対象になっていまして、以前、数年前なんですけれども、もう次に指導対象になって指導文書を出したら、納税猶予の証明書を出しませんよという内容で指導を出したことがありまして、なので、これで指導するというふうになると、もう納税猶予が切られてしまうということとイコールになってしまいうんですね。なので、あくまで指導文書ではなくて、ちょっと文書を変えた形で指導文書を送って、この前も調査した後に連絡をしたんですけれども、今後も継続して、住宅の近くのところはまだ全然草が生えていましたので、そこ重点的にやってくださいということを連絡していまして、やったら連絡をしてくださいというふうには言っているんで、手紙をちょっと別の形で出すのと、あとは連絡を継続して行っていくというところに落ち着いていったほうが、かなり高額な税金を支払うことになってしまうので、その辺はちょっと慎重にやっていったほうがいいかなとは思っていますけれども。

○新坂議長 軽めの指導、通常の指導ではないんですね。

○事務局（井上） そうですね。

○新坂議長 通常の指導でも証明を出さないという。

○事務局（井上） 出さないですよという内容で、一度渡してしまっているんです。

○事務局長（大塚） 一度それで送っていても、必ずしも納税猶予切らなきゃいけないというわけではないと思うので、改めてそこは皆さんのご意見によってだと思えますけれども、いわゆる納税猶予をいきなり切って、もう切っちゃいますというような通知をするのではなくて、改めて状況を整理した上で、きちんと管理してくださいという通常の強めの指導をまた繰り返すという形でもよろしければ、そういう形でしっかり指導はしながら、現在取り組もうとされている除草だったりとか管理について様子を見ながら、強めの指導をしつつ様子を見ていくということも可能なのかなというふうに思いますが、その点はいかがでしょう。

本当に無視して、こっちが何を言ってもやらないし、今回みたいなケースでも、周りにご迷惑をかけている状況でこちらから連絡を取っても何をしないとか、そういうことであれば、従前の通知に基づいて、もう納税猶予の適用できるような状況ではありませんという通知をすることはできるんだと思えますけれども、今まだちょっと取組自体は、こちらの連絡を受けてやろうとしている、行動しようとしているところはあるかと思えますので、それを踏

まえた強めの指導というような流れでいかがかなと思うんですけども。

○新坂議長 5番、成田委員。

○成田委員 今、局長がおっしゃったように、去年と状況が変わらない、もしくはよくなっていない状況の中で、それを軽めに判断するというのはやっぱりおかしいと思うんです。なので、局長おっしゃったように、それが可能ならば同じように指導して、最終的にこれはもう指導し切れない状況になった場合の最終的な通知という方向に持っていくしかないのかなという気がします。軽くしちゃうのはちょっと変かなと思うので。

それとあと、住宅の方にご迷惑がかかっているというところでは、農業委員会だけの問題ではないような気もするんです。近隣への樹木の被害とかそういった場合、別のところでの判断もまた出てくると思うので、ちょっと分けたほうがいいのかと思います。

○新坂議長 ありがとうございます。

皆さんの今いただいたご意見をまとめていくと、文書としては指導を出しつつも、例えば今回一番引っかかっているのは、近隣の住宅の方から、枝が伸びてきて困っているよというところが今回一番引っかかっているところだと思われまますので、そこに特化したような指導文書という形を取ることは、事務局、できますか。

○事務局（井上） 近隣への枝のところという内容を盛り込んだ形での文書、これとは別に作ることはできます。

○富岡（和）委員 だから、どこを優先していくかというのをまず順序立てていかないと、これだけ荒地になっちゃうと、どこから手をつけていいか分からないじゃないですか。だから、住宅のほうから苦情来ているということは、やっぱりその部分が困っているわけだから、まずはその部分を強めの指導という感覚でいいんじゃないかと思えますけれども。

○新坂議長 ありがとうございます。

○富岡（和）委員 電話で言ったり通知出したりするだけじゃ難しいのかな。実際、もし現地に行って、Dさんと事務局で行って、直接話をして、こうこうだから、ここからまずは手をつけてください、ここから片づけをお願いしますという具合で話をしてみたらどうでしょうか。

○新坂議長 ありがとうございます。

では、隣地に伸びた枝について強めの指導文書を送付するという方向でよろしいでしょうか。

（「はい」の声あり）

○新坂議長 では、その内容で事務局、よろしく申し上げます。

それでは、以上で利用状況調査の審査を終了します。

では、事務局は指導文書の送付をよろしく申し上げます。

◎協議事項

③その他

○新坂議長 続きまして、協議事項③その他について、事務局より説明をお願いします。

○事務局（内藤） その他についてですが、農業委員会では例年、和光市民まつり農産物共進会の際に、和光市の農業の振興、発展を図ることを目的に、優良農業経営者、優良農業後継者、優良農業配偶者の表彰を行っておりますので、表彰候補者の選考についての協議となります。

資料の4番をご覧ください。

優良農業者表彰実施についてということで、裏面に優良農業者の候補者推薦の協力についての依頼ということで、各支部長への依頼文書がついておりまして、2枚目以降が過去の受賞歴のリストになっています。農業委員の皆様から、集落支部長にご協力依頼の通知と受領歴リストを渡していただき、打診して、推薦者の紹介をいただく形となります。

資料の一番上の2番の実施内容のところなんですけど、表彰者は市内の農家について、次の各項に該当する農業者であって、農業委員が推薦するものとする。表彰者の選考は農業委員会が行い、表彰は農業委員会長の名において行う。表彰者数は、優良農業経営者、優良農業後継者、優良農業配偶者合わせて6名以内とするとなっております。

各項目については、3番なんですけれども、人格的に地域農業者からの信頼が厚い人、表彰該当者は70歳以上、農業に従事し、今後とも可能な人などの項目があります。

昨年度なんですけど、4年ぶりに表彰が再開されたということもあり、通常6名のところ、去年は13名を表彰しております。今年も同様な形にするかどうか併せてご協議いただければと思います。

こちらの選考の方法についてですが、先ほどもちょっとだけ説明したんですが、受賞歴のリスト、協力の依頼の通知を、皆様から集落支部長に渡して打診をしていただいて、推薦者を紹介していただくという流れにしたいと思います。

スケジュールについてなんですけど、1枚目の4番のところ、実施日程で、ご多用のところ大変恐縮なんですけど、9月20日までに候補者を上げていただくような流れとなっております。

9月の農業委員会総会において、最終的に表彰者を決定するという流れにしたいと思います。去年より1か月ちょっと早めのスケジュールになっております。

また、この他に、表彰を受けた方には副賞として記念品を贈呈していきまして、前回は記念品として、表彰状を入れる額を用意しておりました。予算は1人当たり3,000円程度の品物です。こちらにつきましても、商品のアイデアなどありましたらご提案いただければと思います。

候補者を推薦いただくときに当たっては、支部長への依頼通知の裏面なんですけれども、1番のちょっと下のほうに下線が引いてありまして、9月総会にて正式に決定予定ですので、それまでの間は、候補に上がった事実を候補者やご本人、関係者にお伝えしないようお願いいたしますという形で書いてあります。

説明は以上です。

○新坂議長 ありがとうございます。

ただいま事務局から説明がありましたが、表彰者の推薦から表彰式までの流れにご意見、ご質問等がございましたらお願いします。

今回は通常の共進会、表彰式になると思いますので、例年どおりの開催方式でいいのかなど。受賞者の人数、去年は13名ですか、多かったんですけれども、今回は通常の人数で表彰する方向でいいかとは思いますが、皆様どうでしょう。

特に、変えなければいけないなというところがありましたら、ご意見いただけると助かりますけれども。

8番、田中委員。

○田中委員 優良農業後継者と優良農業配偶者という方は、対象の方はまだまだいっぱいいらっしゃるんですか。

○新坂議長 対象の方。優良農業後継者は、たしか就農して3年だったかな。3年以上就農されている方で、配偶者もそうですね、3年以上という。実際どれぐらいいるのかというのは……

○田中委員 昔だったら、大体順番に頂いていったじゃないですか。もう皆さんもらっちゃっている感じなんですか。

○新坂議長 後継者に関しては、今結構若い方はたくさん入られているので、候補は結構いるんじゃないかとは。年齢順に表彰していくような感じでもいいのかなとは思いますが……

○田中委員 もらった、もらっていない場合は年齢順でいったほうがいいような気がします。

- 新坂議長 支部の意見が出たら……
- 田中委員 もうそんな農業後継者、そんないないですもんね。後継者クラブにしか、分からないですけども。そう考えると、農業後継者と配偶者さんは、順番で選んだほうがいいんじゃないかなと。
- 新坂議長 どれくらい把握できているかというのが……。
- 富岡（和）委員 把握できているのが、各支部長に伺って、そこから把握するのか、それとも事務局とか、例えば農業関係だったら、入っている人たちは把握できているから、順番に後継者を上から選んでいく。各支部長に問い合わせないと分からない。
- 事務局（井上） そうですね。
- 新坂議長 後継者に関しても、後継者クラブに入っていないけれども……
- 田中委員 そうですね、50歳でも入ったばかりだと後継者。
- 新坂議長 いる方もいらっしゃるよ。そうすると、やっぱり支部長に聞いたほうが間違いない。
- 田中委員 以前は、それこそ農業後継者に入っていると、その農業後継者にいただいていたという感じがありましたよね。
- 新坂議長 そうしたら、候補者選定に関しては、各支部で相談してもらってというやり方が漏れが少ないというか、公平かもしれないですね。
- 富岡（和）委員 それで見当たる人がいなくなれば、それはもうしようがないですよ。
- 新坂議長 選定基準に関しては特に問題はなしということによろしいですね、こちらの候補者のほうは。
- 田中委員 ちなみにすみません、優良後継者は何歳までとかというのはないんですか。60歳でも親の方がいらっしゃったら。
- 事務局（井上） そうですね。
- 富岡（和）委員 それが難しいですよ。会社を退職して農家を継ぐなんて方もいますよね。
- 新坂議長 そうしたら、各6名以内とするという数字の基準とか選定基準の内容等に関しては特に変更なしで、例年どおりの方式でよろしいですか。
- （「はい」の声あり）
- 新坂議長 また、こちらの記念品についても、今ちょっとちらっと触れたほうがいいですか。
- 事務局長（大塚） 事務局のほうで決定でも構わないですし、まだ今すぐ決めなければいけないというものではないので、何かアイデアがあれば。

○新坂議長 事務局のほうで少し、こういうのがありますよみたいな候補を決めてもらって、最後皆さんに見てもらって決めるという感じでどうでしょう。

○事務局長（大塚） 了解しました。

表彰状と額だけだと、ちょっと味気ないところもあるのかなというのもありまして。

前のときは、表彰状のほかに何か……

○新坂議長 副賞みたいなのって……

○事務局（井上） 時計に優良農業者表彰何年度みたいなのを文字入れしたのをあげたりですか、そんな形でした。

○新坂議長 何か、自分のときはベルトか何か頂いたような。

○事務局長（大塚） 今回はちょっと予算的にも6名分の予算しかない状況もあって、もしどうしても、各支部長さんから、高齢の方などで、どうしても推薦したいという方が多くなった場合には、またその中で調整をする必要はあるかとも思っているんですけども、基本的にはその予算の範囲内で、何か副賞的なものをお渡しできればというふうには思っておりますので、その中でどういったものが喜ばれるかなというところは、皆さんのご意見をいただきながら、ちょっと考えていければと思っています。

○新坂議長 分かりました。

では、副賞に関しては、事務局のほうに幾つか候補を出していただいて、最終的にはこの委員会のほうで皆様のご意見を頂戴して決定するという流れでいきたいと思います。よろしくをお願いします。

他に、全体の流れについてご意見、ご質問等がありましたらお願いします。

よろしいですか。

7番、吉田委員。

○吉田委員 この一覧は支部長には配付するんですよね。

○事務局（井上） はい。

○吉田委員 分かりました。

○新坂議長 では、協議事項は以上とします。

◎諸報告

①会長専決

○新坂議長 続きまして、諸報告に移ります。

諸報告①会長専決について、事務局より説明をお願いします。

○事務局（内藤） 議案書の1ページから10ページをご覧ください。

今月の会長専決は、4条届出が1件、5条届出が5件となっており、現地の写真が資料1の1から6となっていますので、ご確認ください。

説明は以上です。

○新坂議長 ただいま事務局から説明がありましたが、何かご意見、ご質問等がありましたらお願いします。

よろしいでしょうか。

（発言する者なし）

○新坂議長 よろしければ、会長専決は以上とします。

◎諸報告

②農業委員の活動報告

○新坂議長 続きまして、諸報告②農業委員の活動報告について、事務局より説明をお願いします。

○事務局（内藤） 今月の活動の共通事項については、写真資料の7番をご確認ください。

19日、20日の農地利用状況調査と、本日28日の農業委員会8月総会です。

その他、個別に農地パトロールや現況確認していただいた方、その旨ご記入ください。

説明は以上です。

○新坂議長 ありがとうございます。

その他、皆さんから活動に関してご報告されることがある方は挙手をお願いします。

4番、本多委員。

○本多委員 市民まつりの実行委員会の広報部会を私やっているんですけども、そちらのほうちょっと報告したいと思います。

前回の農業委員会の総会欠席だったもので、報告できなかったのです。

7月23日に広報部会の会議がありました。その中で、一応話合いの中で決められたことは、決めたというかあったことは、お祭りのポスターのデザインについての話合いと、あとパンフレットですね。これ去年のやつなんですけれども、このパンフレット、またどういうデザインにするか、どういう配置にするかということも話し合われました。

あともう一つは、アンケートですね、去年も来場した方にアンケートということで書いて

もらいましたけれども、どういうやり方をするかということもちょっと話し合いました。また同じようにアンケートは実施するという事で決まりました。

そのアンケートの返礼品ということで、こちらのほうも、これ子供向けの返礼品になるのかな、要するに、棒状でぽきっと折ると光が、赤とか緑とかの光る、あるじゃないですか、液体が入っている腕に巻いたりするもの。そういうものを今回子供たちに配布しようかなと。ごみ拾いと、あとはそのアンケートですね、それをやって、書いてくれた子供たちには配布しようかと考えています。

あとは、今後の予定なんですけれども、模擬店の参加団体の説明会ということで、これが9月2日に行われます。市役所の5階と6階の部屋で、午前、午後に分けて説明会をするということです。こちらのほう、広報部会の会員のほうが分担しまして、プレゼンをするということになっています。

あと、次の実行委員会なんですけれども、これは部会ではなくて実行委員会のほうですね、第3回実行委員会を9月19日10時から行われます。

それとあと、その後の第3回の広報部会のほうは、10月10日木曜日、こちらのほうで行われる予定があります。

今、広報部会の委員の方の活動としては、協賛金ですね、お祭りに対しての協賛金をいろんな企業の方から頂いているんですけども、いつも頂いている方からまだ頂いていないという、何人かあるということで、そちらのほうに委員のほうで訪問いたしまして、協賛金をいかがでしょうかという具合で、今月いっぱいそういう活動をする予定になっています。

一応、市民まつり実行委員会からは以上ですが、何かございますか。

(発言する者なし)

○本多委員 では、。

○新坂議長 ありがとうございます。

他に報告のある方いらっしゃいましたらお願いいたします。

(発言する者なし)

○新坂議長 では、ないようですので、委員の皆様からの報告は以上といたします。

◎諸報告

②その他

○新坂議長 続きまして、諸報告③その他について、事務局より説明をお願いします。

○事務局（内藤） 諸報告③その他ですが、6点ございます。

1点目は、羽生市への研修についてです。

これまでは9月頃に毎年出席していたのですが、毎年出席しても研修内容がおおむね同じ内容であるため、今年度は見送る予定です。今後研修については、委員の改選があった年に出席するような方向で考えています。

2点目については、資料3番の農家だよりについてです。

実は、前回の農家だよりにて、共進会の日程にちょっと誤りがありましたので、左側の下のほうですね、訂正の記事を載せています。そして、今月は表面のみの印刷となっております。

3点目については、今週末8月30日に、新倉八丁目の話合いの場の開催についてということで、先週金曜日に事前の打合せとして、会長と事務局とさいたま農林振興センターと農林公社のコーディネーター、あとJAあさか野さんが参加して、当日のちょっとした打合せということでやりました。参加可能な方はぜひお願いしたいということで、地域計画策定については、農業委員会の中でも結構大きな仕事ということで位置づけられておりますので、ご都合がつく方はぜひお願いしたいというところです。

4点目については、9月に入ってから共進会の実行委員会を立ち上げる予定となっております。現在のところ、最初の実行委員会を9月30日月曜日に実施予定となっております。

5点目については、給料の支払い明細の電子化についてなんですけれども、いつもお渡ししている明細ですが、今後はペーパーレス化ということに伴い、11月分から電子化される予定となっております。原則メールでの送信という形になりますので、メールアドレスがちょっと必要になってくるんですが、LINEで事務局の代表アドレス、市役所の産業支援課の代表アドレスを送信いたしますので、そのアドレス宛にお名前を入れてメールを送っていただければ、そこに明細を送信するような形にしたいと思いますので、もしメールアドレスの使えるものがないということでしたら、ちょっとご相談いただければ、別途郵送で送付するような形でも対応できますので、おっしゃってください。

6点目なんですけど、資料の5番ですね。

女性の農業委員が対象となるものなんですけれども、埼玉県農業会議から、令和6年度関東ブロック女性農業委員等研修会の開催についてと、あと、埼玉県農業委員会女性協議会から、総会の開催についての案内が、裏面ですね、届いております。成田委員の富澤委員が対象になりまして、出欠について報告することになっておりますので、出席または欠席につい

て後ほど教えていただければと思いますので、よろしくお願ひいたします。

女性協議会総会のほうは、欠席する場合はちょっと書いていただくものとかもあつたりするので、またそのときによろしくお願ひします。

諸報告は以上です。

○新坂議長 ありがとうございます。

委員の皆様から何かございますでしょうか。

7番、吉田委員。

○吉田委員 ここに書いてある3番目の項目のアクシスのイベントあるじゃないですか。あれ、現状どのぐらいの方が来られるのと、僕あまりあの辺分らないので、車で行って車止められるものなのかなという。いかがでしょう。

○事務局（内藤） 今現在、お電話とかで話ししていきますよと言つていただいている農家さんだけで9名です。

○吉田委員 五、六十人来るんじゃないかと。そうですか、分かりました。

○事務局（内藤） 他の自治体さんとかでも、やっているんですけども、やっぱりお話を聞くと、ほとんど来ないようで、いっぱい来ましたという話は聞かないですね。

○吉田委員 駐車場の心配する必要はないんだ。

○富岡（和）委員 でも、あそこ貯水池になっているので、駐車場、下。

○成田委員 雨降っちゃうとちょっと心配ですけども。

○富岡（和）委員 危ないかもしれないです。

○吉田委員 ありがとうございます。参考にしておきます。

○事務局長（大塚） エリア的に、どうしても台風等で雨がちょっと心配なときは、周囲の道路に止めちゃつてもやむを得ないかなとは思つています。そのときは逆に、こちらのほうからもご案内させていただきますので。

30日、本当に台風がひどくて開催できない可能性もなくはないので、明日もしくはあさつて早々のタイミングまでに状況見ながら、もし中止になるようなことがあるようでしたら、参加される皆様には事務局のほうからご連絡を差し上げるようにしたいと思いますので、よろしくお願ひいたします。

○吉田委員 30日はやっぱり農業委員は少し早めに行ったほうがよろしいですか。ぎりぎりでも。

○新坂議長 どうでしょう。

○事務局（内藤） 特に、ぎりぎりでも大丈夫ですし、本当、途中からの参加でも、ぜひ来ていただければと思います。

○新坂議長 ラフな格好でも。

○事務局（内藤） そうですね。ラフな格好、ぜひ。

○成田委員 Tシャツとか。

○事務局（内藤） Tシャツぐらいで大丈夫です。

○新坂議長 あと、ナイトウさんが曲を選曲してくれる。音楽を流しながら、なるべく和やかな雰囲気ですみんな話合いができるようにという。

○事務局（内藤） あまり会議みたいな感じにはしたくないというところで。

○新坂議長 ぜひ、皆さんのご都合合えば、よろしくお願いします。

他に何かご質問等ありましたらお願いします。

よろしいでしょうか。

（発言する者なし）

○新坂議長 それでは、本日の議事は以上となります。

◎閉会

○新坂議長 本日も皆様のおかげで滞りなく議事運営を務めることができました。ご協力いただき、誠にありがとうございました。

以上をもちまして、令和6年和光市農業委員会8月総会を閉会します。

皆様お疲れさまでした。

閉会 午後 4時50分

上記は会議の内容を記載したものであるが、その内容の相違ない事を証するため、ここに署名する。

和光市農業委員会議長

署名委員

署名委員